

# 進路ニュース

第2号

～ good habits beat talent !～

2023年 5月 8日発行



## 「国公立大学」一般選抜入試 について

### 「選抜要項」と「募集要項」

- ① 「入学者選抜要項」【5月頃～7月末】…各入試の募集人員、入試日程・科目・配点などが記載される。
- ② 「募集要項」(願書)【11月～12月中旬】…「選抜要項」の内容に加え、受験の際の注意点、出願に必要な書類が含まれる。

(1) 国公立大学

大学入学共通テスト	+	個別(2次)試験	→	合格発表
1/13, 14		前期日程2/25～		3月上旬
マーク式		記述式		共通テスト+2次の合計点で
(例)5(6)教科900点		(例)2教科600点		合否が決まる

### ① 入試の方法

- ・合否判定は、大学入学共通テストと個別試験(2次試験)の総合点で決まる。(配点は学部により異なる)
- ・共通テストの得点は本人には通知されない。共通テスト翌日の自己採点の結果に基づき、2次試験の出願をすることになる。(前期、後期、中期日程とも、出願は1月下旬～2月上旬)

### ② 出願パターン

- ・2次試験は、前期日程と後期日程(一部の公立大で中期日程や別日程[独自日程])に分けて実施され、受験生は2回(中期や別日程を受験した場合は最大3回以上)同じ大学または違う大学を受験することができる。

◎ 試験日程の組み合わせ方によって、次の4通りの出願・受験ができる。

- ① 前期 + 後期
- ② 前期 + 公立大中期
- ③ 前期 + 公立大中期 + 後期
- ④ 公立大中期 + 後期

- ・これらの組み合わせの中で、①や③のパターンの出願が一般的である。
- ・但し、上の①～③で、前期日程試験に合格し、入学手続きをした場合は、後期日程、公立大中期日程を受験しても合格できない。
- ・前期日程試験の大学・学部を第1志望に設定するのが基本である。
- ・国立大学の募集定員は、前期と後期でほぼ8:2に振り分けられている。但し、年々、後期日程での募集を廃止する大学が増加している。

## 「学習室利用状況」について

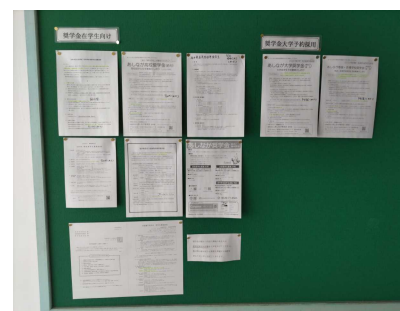
月間利用者数(4/1～4/30 集計)

学年	1年	2年	3年	合計
人数	11	26	35	72



今年度から学期中の休日が活用できるようになりました。利用の際には、退校時間をしっかり守ってください。また、利用者名簿に名前等の必要事項を必ず記入してください。

## 「進路関係掲示板」



進路支援室と進路資料室の間の廊下の掲示板に奨学金コーナーを設けました。他には国公立・私立大学等のオープンキャンパスの案内や公務員採用試験関係の文書などが掲示してあります。閲覧してください。

## 2025年度入試情報

新課程初年度(現在の2年生)の生徒の受ける共通テスト。近県の国公立の「情報の扱いについて。今後の各大学の情報公開に注目。

富山大: 必須と選択があるが、配点はまだ公表前。

金沢大: 一括入試以外は必須。共通配点は20～100点までで、50が多い。総配点比率は経済前期の5.7%がMAX。

福井大: すべて必須だが、配点はまだ公表前。

富山県立大: すべて無。

石川県立大: 中期の美術工芸で選択科目。総配点比率は10%

福井県立大: 必須・選択・無とあるが、配点はまだ公表前。もともとアラカルトの所は無となっている。

敦賀市立看護大: 前期は選択で総配点比率は11.1%。後期は無。

公表済み大学の配点パターンは、20点、50点、100点が多く、特に50が多い印象を受ける。神戸大・理・物理・前期のように、配点5点、総配点比率0.6%と極端なところもある。配点比率の大きさや選択の場合にどうなるかが注目される。